

令和元年 8 月 1 日

吉川福祉専門学校
校長 久田晴實 様

吉川福祉専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 小潟 竜一

令和元年度 第 1 回学校関係者評価委員会報告

令和元年度第 1 回学校関係者評価委員会において実施した「平成 30 年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価委員名簿

委員長：小潟竜一委員 副委員長：橋本かおり委員

岡 雅昭	埼玉県立三郷高等学校長
小潟 竜一	特別養護老人ホーム吉川平成園 介護課長
橋本 かおり	特別養護老人ホーム越谷なごみの郷 施設長
山岡 千賀子	介護保険複合施設憩いの里 介護職員 卒業生
與儀 忍	ケアセンター岩槻名栗園 副施設長

(五十音順)

2 学校教職員 (陪席)

久田 晴實	吉川福祉専門学校長
池上 千恵美	同 教員
須賀 成則	同 事務長
山本 晃市	同 事務長代理
田村 貴章	同 係長

3 学校関係者評価委員会の開催状況

日 時：令和元年7月5日（金）9時00分～10時40分

会 場：吉川福祉専門学校 演習室

参加委員：学校関係者評価委員5名、学校教職員5名（陪席）

4 委員会次第

開会

（1）委嘱状交付

（2）委員の紹介

（3）校長挨拶

（4）議長選出

（5）協議

① 学校概要の説明

② 教育活動の重点目標（2019年度）

③ 平成30年度「自己評価報告書」について

④ 学校に対する意見・要望など

（6）その他

① 今後の予定

② 事務連絡等

（7）授業参観及び学校施設見学

閉会

5 学校関係者評価結果

別紙のとおり

以上

令和元年度吉川福祉専門学校 第1回学校関係者評価報告書

令和元年8月1日

1 学校概要の説明

本校の魅力のひとつは、学生一人ひとりを大事にすることである。退学率2.1%、14:30授業終了、450時間の実習等の特長がある。今年度は31名が入学。平成30年度卒業生の国家試験合格率は90.5%であった。

2 学校関係者評価の進め方の説明

校長挨拶の中で、「自己評価報告書」1. 学校の理念、教育目標、2. 本年度の重点目標と達成計画の報告説明が行われたため、3. 評価項目別取組状況から協議することとなった。

3 「平成30年度自己評価報告書」に対する評価の実施

1 学校の理念、教育目標	・特になし
--------------	-------

2 本年度の重点目標と達成計画	・特になし
-----------------	-------

基準1 教育理念・目的・育成人材	・特になし
------------------	-------

基準2 学校運営	・特になし
----------	-------

基準3 教育活動	
----------	--

3-9 【教育方法・評価等】

(学校) HALについて、平成30年度から最先端の福祉機器を導入し他校との差別化を図っている。サイバーダイン社の担当者に来校していただき、学生全員にHALの体験授業を実施。本校の教員(4名)もHALの安全使用指導者資格を取得した。学生のアンケートでは好意的な感想が多かったため、令和元年度は「HALの日」を導入。HALの日(HR後の時間を利用)では、介護の基本を学んでいる2年生から装着体験を始め、排せつの介助や衣服の着脱などの項目をつくり、利用者役と介護者役をそれぞれ体験した。

- (委員) 学生の資質向上のための研修（体験）で有意義であると思う。
- (委員) HALについては、当施設の職員も腰を痛めているので、介護ロボットを積極的に活用しようと思っている。専門学校で使い方等を学んできた職員が増えると、福祉現場でもうまく活用できるのではないか。

基準4 学修成果

4-13 【就職率】

- (学校) 平成30年度の就職率は100%であり、卒業生の合計は192名となった。
- (委員) 私たちの頃も就職率は100%だったが、その後何人かは辞めている。授業で学んだことがフィットせず現実と折り合わないのか、施設に入って個人的な人間関係なのか、授業に関係するものなのか等の情報を把握していくとよいのではないか。
- (委員) 就職先のミスマッチを防ぐというところでは、就職説明会に来てくれた人には時間があるなら1日または2日程度職場体験をしたほうが良いと話している。制度としてはあまり用意していない施設が多いと思うが、言われればどの施設も受け入れてくれるはずである。

4-14 【資格・免許の取得率】

- (学校) 平成30年度の国家試験合格率は90.5%であり昨年度から少し向上した。留学生は50%が合格し、日本人は全員合格した。
- (委員) 不合格だった留学生の卒業後の進路はどうなっているのか。
- (学校) 本来はビザの関係で日本に滞在することができなくなるが、令和3年度の卒業生までは、介護福祉士国家試験の不合格者でも、卒業後5年間は期限付きの介護福祉士資格が付与される為、不合格の留学生も卒業後、介護福祉士として「介護」の就労ビザで日本に滞在している。

基準5 学生支援

5-18 【学生相談】

- (学校) 現在留学生の受け入れについては、定員の15%を上限にしている。今年度入学した5名の内訳は、ベトナム、中国、インドネシア、ミャンマー（2人）である。5名ともとても勉強熱心で福祉施設でアルバイトをしていることもあり、ベッドメイキング等の介護技術はとても優秀である。ただし、受入人数や質の問題もあり、日本語能力がある程度ないと厳しい。

(委員) 今は働き方改革ということで、福祉現場でも一人でも働き手を増やすという意味では、今後留学生（外国人スタッフ）の受け入れ体制を整える可能性はある。

(学校) 留学生では、ヒジャブ、礼拝、ハラル等について体制を整備することが必要になってくる。

(委員) 高校現場でも礼拝等については、授業に支障のないよう対応している。

基準6 教育環境

・特になし

基準7 学生の募集と受入れ

7-25 【学生募集活動】

(学校) 今年度の在籍数は、1年生31名、2年生25名（5月1日時点）である。

(委員) 高校生の場合、福祉施設へすぐに就職するよりも専門学校等への進学を希望する生徒が増えているのか。

(学校) 高校新卒で福祉施設に入るのは、特に最近の高校生の場合、フィットするのが難しいのではないか。中にはカルチャーショックを受ける生徒もいるような話も耳にする。

(委員) 高校によって違いはあると思うが、数年前に比べて進学希望者が増えているように感じる。要因としては、経済基盤がしっかりとした家庭が増えたことや、すぐに働くだけの腹をくくった生徒が減り、実社会に出る前にもう少し学生として過ごしたいと考える生徒が増えたように思う。就職希望の生徒は進学希望の生徒に比べて、自分の考えをしっかりと持ち、社会に向かっていく姿勢が感じられる。

基準8 財務

・特になし

基準9 法令等の遵守

・特になし

基準10 社会貢献・地域貢献

・特になし